

## 2020年度第2回価格審査会の開催について

2020年度第2回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2020年5月13日(水)～15日(金)	
場 所	新型コロナウイルスに関わる緊急事態宣言を考慮して上記期間中のメール会議とした	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長
	江川 浩	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
	桜井 力	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	鈴木孝之	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 工事予算計画室 室長
	柳 泰彦	株式会社日本設計 コスト設計部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：康広 誠己
	建築調査部	部長：足利 全教、次長：渡辺 弘一
	監査審査室	室長：後藤 裕
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2020年度第1 価格審査会議事録(案) 確認

2020年度第2 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」6月号、「Web 建設物価」6月号の価格動向
・	<p>価格が上伸した資材（工事費）</p> <p>【建設物価】レディーミクストコンクリート（郡上、諫早）、軽量コンクリート（名古屋）、地区別コンクリート境界杭（神戸）、組立式マンホール（大阪）、張りブロック（高知）、ガス（静岡、名古屋、大阪、高松）、非鉄スクラップ【銅、黄銅】（全都市）、測量成果品検定料金（全国）などであることを説明。</p> <p>価格が下落した資材（工事費）</p> <p>【建設物価】異形棒鋼（北海道除く各都市）、ねじ節鉄筋（北海道除く各都市）、H形鋼（全都市）、鋼板（全都市）、切板（全都市）、コラムBCR295（全都市）、コンクリート型枠用合板（那覇）、普通合板（那覇）、ストレートアスファルト（那覇）、燃料油【軽油ローリー渡し】（全都市）、鉄スクラップ【鉄】（九州、那覇除く各都市）、非鉄スクラップ【鉛】（東京、新潟、名古屋、大阪、那覇）などであることを説明。</p>
2.	比較資料
・	企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	当月の変動帯数は39帯(前月比52%と約半減)とかなり減っているが、この理由(背景)は、新年度明け直後のこの時期は、一般的に取引が少なくなるという傾向によるものか。あるいは今年の場合は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要減少の影響が大きく作用しているのか。	当月の変動帯数が減っているのは、年度明け直後で取引が少なくなるという例年の傾向によるところが大きいとみられる。新型コロナ感染拡大に伴う需要減少で下落した帯もあるが、需要減少が変動数の減少に作用しているとはいえない。なお、前年同月の変動帯数は22帯で例年6月号は変動が少ない傾向にある。
審議 2	高炉品のひも付きについては、どのような状況か。取引価格に変化はあるか。	高炉品のひも付きについても、需要は同様に減少している。価格は、メーカーの販売姿勢に変化はみられず、現状横ばいである。
審議 3	那覇地区のストレートアスファルトは、11.6%下落しており、原材料(原油)調達コスト減が理由となっている。世界的な原油安の中で、国内他地域において価格変動は生じていないのか。その理由は何か。	那覇地区以外でも元売りは仕切価格を引き下げている。那覇地区では流通筋と需要家が毎月価格交渉を行うのに対し、那覇地区以外では3カ月ごとに交渉を行う商慣習がある。このため、那覇地区以外では、元売りの原油調達コスト減が製品価格に反映されるまでに時間を要している。
審議 4	ストレートアスファルトが4月(5月号)以降下落している理由は何か。	新型コロナの影響などから原油価格が下落傾向にあるなか、原材料(原油)調達コスト減を背景に元売りが仕切り価格を引き下げ、流通筋も追従した結果、下落した。
審議 5	東京地区のストレートアスファルトは、業界紙は3月以降、25%の下落となっているが、当会の調査では横ばいである。差異についての見解を確認したい。	元売りは3月以降毎月仕切価格を引き下げているが、東京地区では流通筋と需要家が3カ月ごとに価格交渉を行う商慣習がある。このため、仕切価格の下落が掲載価格に反映されるまでに時間を要している。
審議 6	競争緩和で神戸地区のコンクリート杭メーカーの値上げが浸透とあるが、他地区の動向も同様か。	主要メーカーの生産中止に伴う競争緩和でメーカーの値上げが浸透したのは、神戸地区だけである。コンクリート製品は地域性が強いいため、各地区で状況は様々である。
審議 7	ガス類が値上げとなった理由は何か。	ヘリウムは、半導体生産等にも使用されており、中国やインドでの需要増加に伴い輸入価格が上昇したことを理由に、販売店が値上げした。アセチレンは、原材料であるカーバイド(炭化カルシウム)の値上がりで製造コストが上昇したことを理由に、メーカーが値上げした。その他は、製品輸送コスト上昇を理由に、販売店が値上げした。
審議 8	軽油(ローリー)を地区別でみると、北海道及び関東地域は、67~69円(60円台)なのに対し、その他の地域は71~74円(70円台)と違いがでているのはなぜか。	燃料油の価格は、各地区の流通筋と需要家の交渉によって決まる。地区によって、需給バランス、流通筋の販売姿勢、需要家の購入姿勢、販売環境などが異なるため、価格に違いが生じている。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 9	原油相場は上昇基調に転じているが、市況は目先、横ばいの見込みとしている。国内の経済活動再開の見通しは海外に比較して遅れるとは見込まれるものの、今後、下落傾向は終息との見込みか。	海外の経済活動再開で足元の原油相場は上昇に転じたが、新型コロナの感染再拡大の懸念もあり元売り各社は慎重な姿勢を保っている。目先、不透明感が強いものの横ばいとした。
審議 10	燃料油は「目先、横ばいの見込み」とあるが、グラフではそのように見て取れないが、下げ止まるという理解でいいのか。	足元の原油相場が上昇するなかで、元売り各社は様子見の姿勢を保っており、目先横ばいとした。今後、海外の経済活動再開に伴い新型コロナの感染が再拡大した場合は、原油相場の下落も予想され、先行きの動向は不透明な状況である。
審議 11	鉄スクラップ(ヘビーH2)を地区別で見ると、一番低い価格が帯広 2,500 円と一番高い価格が那覇の 16,000 円とが地域によって価格の幅(6.4倍)があるがなぜか。	問屋は、海外の輸出相場、国内電炉メーカーの購入価格、電炉工場までの輸送距離、地区内の競合状況、市中でのスクラップの発生状況などを勘案し価格を決定している。帯広地区は電炉工場までの輸送距離が長いので市中からの買い入れ価格が安く、那覇地区は輸送距離が短いので市中からの買い入れ価格が高くなっている。
審議 12	昨年度伸銅品の生産量が米中貿易摩擦やコロナウイルスの影響で、前年比9%減と42年振りの低水準と他紙の記事であったが、非鉄スクラップ(銅)、銅価格の今後の見通しはどうか。	中国の経済再開への期待から国際銅相場が小幅上昇したため銅スクラップも上伸したが、先行きは、需要が減少するとの見方が強く、弱含みである。
審議 13	異形棒鋼、H形鋼以外の主要10品目で弱含みの資材はあるか。下落した資材の今後の需要の戻りについて、時期や条件などはどう見ているのか。	主要10品目のなかで、異形棒鋼、H形鋼以外で先行き(目先)弱含みとした資材はない。但し、年度明け直後の閑散期のなか、新型コロナの影響も加わり、多くの資材で需要が低迷しており、この需要低迷は市況を下押す一つの要因になっている。また、今後の需要については、例年だと、これから秋口にかけて需要が増えるのが一般的だが、今年度は新型コロナの影響もあり、現状、見通しが立っていない。
審議結果	「建設物価」6月号、「Web 建設物価」6月号の価格動向に問題はなかった。	

以上